




薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

**エンレスト錠 50mg、エンレスト錠 100mg、エンレスト錠 200mg
エンレスト粒状錠小児用 12.5mg、エンレスト粒状錠小児用 31.25mg**

一般名： サクビトリルバル サルタンナトリウ ム水和物 (Sacubitril Valsartan Sodium Hydrate)	販売名	エンレスト錠 100mg	エンレスト錠 200mg	エンレスト粒状錠 小児用 12.5mg
	形状 (製剤 写真 等)			

※エンレスト錠 50mg、エンレスト粒状錠小児用 31.25mg の写真は省略しています

1.どんな薬

- この薬は、ネプリライシンおよびアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで、血圧を下げ、体内に貯まる水分量を減らし、心臓への負荷を軽くし、心不全の悪化を抑制します。
- 慢性心不全（大人、子ども）や高血圧症（大人）の人に処方されます。

2.この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
過去にエンレストに含まれる成分で過敏症のあった人。アンジオテンシン変換酵素阻害薬（アラセプリル、イミダプリル塩酸塩、エナラプリルマレイン酸塩、カプトプリル、キナプリル塩酸塩、シラザプリル水和物、テモカプリル塩酸塩、デラプリル塩酸塩、トランドラプリル、ベナゼプリル塩酸塩、ペリンドプリルエルブミン、リシノプリル水和物）を投与中の人、あるいは投与中止から36時間以内の人。過去に血管性ふしゅを経験したことがある人。アリスキレンフマル酸塩を投与中の糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）。肝臓に重い障害がある人。妊婦または妊娠している可能性がある人。
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 〈慢性心不全、高血圧症に共通〉
 腎動脈きょうさくのある人、高カリウム血症のある人、脳血管に障害がある人、腎臓に障害がある人、肝臓に中等度の障害がある人、授乳中の人
 〈慢性心不全に使用する場合〉
 血圧が低い人
 〈高血圧症に使用する場合〉
 嚴重な減塩療法をしている人、透析中の人
- この薬には一緒に使用してはいけない薬や、一緒に使用する場合に注意が必要な薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3.この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急にはれる、のどに何かが詰まっているよ	血管性ふしゅ

うな感じがする、息がしにくいと感じる、声が出にくい	
力が抜けてだるく感じる、めまい、ふらつき、立ったときにめまいやふらつきを感じる、意識がなくなる	症候性低血圧
体が重くて動きたくない感じがする、吐き気、食欲がない、目の白い部分が黄色っぽくなる、皮ふが黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹がパンパンになる感じがする、急に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（明るい～黒ずんだ赤色または黒色に見える）、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる	重い肝障害
のどがかわく、体重が減る、立ったときにめまいやふらつきを感じる、めまい、疲れやすい、体に力が入らない、手足の筋肉が急にきゅっと縮んで痛くなる	脱水
尿の量が減る、むくみ、体が重くて動きたくない感じがする	腎機能障害
体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、吐く、下痢、お腹がパンパンになる感じがする	高カリウム血症
突然ぼーっとしてしまう、突然意識がなくなる、突然左右同じ側の手足が動かしにくくなる、急な頭の痛み、突然吐いてしまう、突然くらくらする、突然しゃべりにくくなる、急に言葉が出にくくなる	脳血管障害の悪化[脳血管に障害のある人]
力が抜けてだるく感じる、めまい、ふらつき、立ったときにめまいやふらつきを感じる、気を失う	急激な血圧低下[厳重な減塩療法中の高血圧症の人、血液透析中の高血圧症の人]

- 手術前 24 時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでい
- 高所作業、自動車運転等：血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、危険を伴う機械の操作には注意してください。
- この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
- 妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
体がふわふわと浮いているような感じがする、ふらつき	浮動性めまい
せき	咳嗽
疲れる	疲労

5. 保管方法

直射日光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

シロップ（懸濁液）の保存期間は 15～25℃で 7 日間です。保存剤を含むシロップ（懸濁液）の場合、保存剤の効果が弱まってしまうので冷蔵保存はせずに、直射日光の当たらない、比較的涼しい場所で保存してください。

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：ノバルティス ファーマ株式会社 電話：フリーダイヤル 0120-003-293

受付時間：月～金 9時～17時30分（祝日及び当社休日を除く） <https://www.novartis.co.jp>

提携：大塚製薬株式会社 電話番号：0120-922-833

受付時間：月～金 9時～17時（土、日、祝日、休業日を除く） <https://www.otsuka.co.jp>

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>